

行外配付第
〇五號

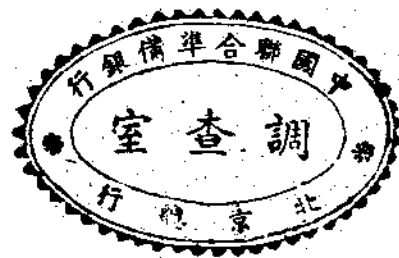
行內限

週報

第一九三號

自康德七年九月二十九日
至同 十月 五日

滿洲興業銀行調查課



週報 第一九三號 目次

△週間滿洲重要日誌 頁

△週間國外重要日誌 二

△滿洲財界事情
特産物及其他糧穀統制關係新法令公布 四

金使用制限ノ強化 九

米穀、高粱、玉蜀黍ニモ出荷獎勵金ヲ交付 〇

主要糧穀及雜穀ノ收買、販賣價格決定 二

糧穀組合規則公布 一五

卸賣物價（七月分） 一七

康德七年上半季中ノ全滿金融機關預金貸出概況 一八

週間發表經濟統計 二一

△日本財界事情
國家總動員審議會十一勅令案ヲ可決 二四

十五年第一回米穀總收穫高 四〇
 預金部資金放出具體策決定 四一
 專變公債二億圓發行 四三
 外國貿易概況（九月下旬） 四三
 株式市況 四四
 金融事情 四六

△支那財界事情

聯銀券前季末發行高 四八
 上海、諸銀行當座預金利率引下 四九

△諸表

當行週末主要勘定表高 五一
 滿洲中央銀行券、日本銀行券、朝鮮銀行券發行高 五二
 海外爲替相場、海外金銀塊相場 五三
 株式相場 | 東京短期 五四
 同 | 奉天、大連短期 五五

商品相場	大阪綿布、棉花、神戸豆粕	五六
重要商品公定價格	大豆、豆粕、豆油及主要糧穀	五七
同	米穀、綿糸布	五八
同	砂糖	五九
新穀出荷獎勵金一覽		六〇

◎ 週間滿洲重要日誌

九月三十日

△糧穀管理法（勅令第二百三十五號）及同法施行規則（興農部令）公布、何レモ十月一日ヨリ施行。

△特産物專管法（勅令第二百三十六號）及同法施行規則（興農部令）公布、何レモ十月一日ヨリ施行。

△米穀管理法中改正ノ件（勅令第二百三十七號）公布、十月一日ヨリ施行。

△小麥及製粉業統制法中改正ノ件（勅令第二百三十八號）公布、十月一日ヨリ施行。

△棉花統制法中改正ノ件（勅令第二百三十九號）公布、即日施行。

△糧穀組合規則（興農部令）公布、十月一日ヨリ施行。

十月一日

△第一次全國臨時國勢調査施行。

△金使用規則中改正（經濟部令）、即日施行。

五日

△主要糧穀及雜穀ノ收買及販賣價格發表。

◎ 週間 國外重要日誌

九月二十九日

△支那、國民政府、英國ニ對シ山東省劉公島租借期限滿了ヲ通告。

△英國、佛領マダガスカル島總督ニ對シ最後通牒ヲ發ス。

三十日

△日本、總動員審議會、國民徵用令及國民職業能力申告令中改正、從業者ノ移動防止、船員ノ徵用、船員ノ使用等統制、土地及建物ノ價格等ノ統制、銀行等ニ關スル資金運用ノ命令、以上ニ關スル六勅令案可決。

佛印監視委員長更迭、澄田少將新任。

十月一日

△日本、總動員審議會、價格等統制令中改正、地代及家賃ノ統制、船員ノ給與、資金ノ統制、會社經理ノ統制、以上ニ關スル五勅令案可決。

△獨ソ鐵道輸送新協定調印。

二日

△日本、總力戰研究所設置（所長事務取扱企畫院總裁星野直樹氏）。

三日

△日本、參謀總長更迭、杉山元大將新任。

内閣參議發令、町田忠治、中島知久平、久原房之助、安達謙藏、安保清三、林銑十郎、池田成彬、勝田主計、海誠之助、大谷光瑞ノ十氏新任。

△日本軍、支那雷州半島上陸。

△伊太利軍、埃及マッセラ、マトルル占領。

△美國、チャーチル内閣改造、首相アンダーソン、蔵相リットン、労働相ベックマン新任、チャーチル内閣退任。

四日

△日本、大政翼賛會顧問、總務決定。

△獨逸、ツトブー總統、伊太利ムツソッリーニ首相、伊太利ブレンカニ於テ會談。

五日

△日本、佛印ニ公官榮派大使ヲ首班トスル經濟使節團ヲ派遣ノ旨發表。

◎滿洲財界事情

特產物及其他糧穀統制關係新法令公布

政府ハ農產物ノ蒐荷、配給及價格ノ適正ニ爲全ク期スル爲從來ノ主要糧穀統制法及重要特產物專管法ヲ廢止シ、新ニ糧穀管理法、特產物專管法ヲ施行スルコトトシ、更ニ其ノ他關係諸法令ノ改正ヲ行ヒ、九月三十日公布、十月一日ヨリ之ヲ實施シヌ。

改正各法ヲ通ズル重點ハ

- 一、農產物取引ハ交易場中心主義ヲ採ル
- 二、公定價格ハ現地即應ヲ原則トスル
- 三、違反行爲ニ對シ罰則ヲ強化スル
- 四、コト等デ各法ノ概要左ノ通りデアル。

○糧穀管理法（勅令第二百三十五號）

本法ハ糧穀ノ配給及價格ヲ管理統制シ、其ノ需給ノ調節及價格ノ適正ヲ圖ルヲ目的トシ（同法第一條）糧穀ノ賣渡人ハ糧穀ノ生産者又ハ小作料トシテ之ヲ取得シタル者其ノ他興農部大臣ノ定ムル取得者（興農部大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除キ）其ノ買入人ハ興農部大臣ノ定ムル所ニ依リ省長又ハ新京特別市長ヨリ營業ノ許可ヲ受ケタル糧穀、滿洲糧穀會社若クハ其ノ代理收買人又ハ興農合作社（開拓協同組合及開拓協同組合聯合會ヲ含ム）

トナツテ居リ、其ノ買入ハ農産物交易場又ハ地方行政官署ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ爲スコトトナツテ居ル。(第三、四、五條)而シテ權限又ハ興業合作社ハ其ノ買入レタル權限ヲ滿洲權限會社又ハ其ノ代理收買人ニ買渡スコト(第六條)滿洲權限會社ノ權限會社及販賣價格ハ興業部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受クルコト(第八條)トサレ、其ノ卸賣及小賣價格ハ滿洲權限會社ノ販賣價格ヲ基準トシテ、省長又ハ新京特別市長ガ其ノ管轄區域内分ニ付テ之ヲ定メ其ノ價格ヲ超ヘテ取引ヲ爲シ得ナイコトトナツテ居ル(第九條)

尙滿洲權限會社ハ興業部大臣ノ定ムル配給計畫ニ從ヒ權限ノ配給ヲ爲スガ(第十二條)之ヲ鐵道又ハ船舶ニ依リ搬出シ又ハ輸出スルコトハ所管部大臣ノ特ニ定ムル場合ノ外權限會社ニ非ザレバ之ヲ爲シ得ザルコトトナツテ居ル(第十、十一條)。又權限ニ對シテハ地方行政官署ノ認可ヲ受ケ、新京特別市、市、縣又ハ旗ノ區域毎ニ權限組合ヲ設立スベキコト(第十六條)、權限及權限ノ販賣業者若クハ加工業者其ノ他權限ヲ所有シ、若クハ占有スル者又ハ權限組合ニ對シテ、權限ノ配給、又ハ價格ノ調節上興業部大臣ハ必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲シ得ルコト其ノ他權限ノ統制上政府ノ行ヒ得ル權限、罰則等ニ付規定サレテ居ル(第十七條以下)。

本法ノ適用ヲ受ケル權限ノ種類ハ興業部大臣ガ之ヲ定メルコト、ナツテ居リ(第二條)其ノ種類ハ左ノ通りデアル。

- 一、高粱、精白高粱、二、玉蜀黍、三、粟、精白粟、四、大麥、五、燕麥、六、黍、精
- 白黍、七、稗、精白稗、八、蕎麥、九、小豆、十、綠豆、十一、豌豆

○特産物專管法（勅令第二百三十六號）

本法ハ特産物ノ配給及價格ヲ管理統制シ、其ノ輸出ノ増進ヲ圖リ併セテ之ガ利用加工業ノ發達ニ資スルヲ目的トシ（同法第一條）、特産物ノ賣渡人ハ特産物ノ生産者又ハ小作料トシテ之ヲ取得シタル者其ノ他農産部大臣ノ定ムル取得者（農産部大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除キ）其ノ買入人ハ農産部大臣ノ定ムル所ニ依リ省長又ハ新京特別市長ヨリ營業ノ許可ヲ受ケタル植種、滿洲特産專管公社若クハ其ノ特約收買人又ハ農産合作社（開拓協同組合及開拓協同組合聯合會ヲ言ム）トナツテ居リ、其ノ賣買ハ農産物交易場又ハ地方行政官者ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ爲スコト、ナツテ居ル（第三、四、五條）。而シテ以上ノ規定ハ加工品タル特産物ニハ之ヲ適用シナイコト、ナツテ居ル（第六條）。又植種又ハ農産合作社ハ其ノ買入レタル特産物ヲ專管公社又ハ其ノ特約收買人ニ賣渡スコト、油房業者ハ其ノ加工シタル特産物ヲ專管公社又ハ其ノ特約收買人ニ賣渡スコト、專管公社ノ特約收買人ハ其ノ買入レタル特産物ヲ專管公社ニ賣渡スコトトサレ（第七條）。專管公社ノ特産物買入及販賣價格ハ農産部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受クベキコト、ナツテ居リ（第十條）、其ノ卸賣及小賣ノ價格ハ專管公社ノ買入又ハ販賣價格ヲ基準トシテ、省長又ハ新京特別市長ガ其ノ管轄區域内分ニ付テ之ヲ定メ、其ノ價格ヲ規

ハテ取引ヲ爲シ得ナイコト、ナツテ居ル（第十、十一條）。

尙專管公証ハ興農部大臣ノ定ムル配給計畫ニ從ヒ特産物ノ配給ヲ爲スコト、鐵道又ハ船舶ニ依ル搬出、輸出入ハ所管部大臣ノ特ニ定ムル場合ノ外專管公証ニ非ザレバ之ヲ爲シ得ザルコト（第十二、十三、十四條）其ノ他特産物ノ統制上政府ノ行ヒ得ル權限、罰則等ニ付大體糧穀管理法ト同様ノ條項ガ定メラレテ居ル（第二十條以下）。

本法ノ適用ヲ受ケル特産物ノ種類ハ興農部大臣ガ之ヲ定メルコト、ナツテ居リ（第一條）其ノ種類ハ左ノ通りデアル。

一、大豆、大豆粕、大豆油

二、蘇子、蘇子粕、蘇子油

三、小麻子、小麻子粕、小麻子油

四、大麻子、大麻子粕、大麻子油

五、落花生、落花生粕、落花生油

六、胡麻、胡麻粕、胡麻油

七、棉實、棉實粕、棉實油

八、亞麻仁、亞麻仁粕、亞麻仁油

九、向日葵實、向日葵粕、向日葵油

○米穀管理法中改正ノ件（勅令第二百三十七號）

現行米穀管理法中改正ノ要點ヲ述ブレバ

第五條米穀ノ賣買關係者規定條項ノ次ニ賣買ノ場所ノ規定トシテ米穀ノ生産者又ハ取得者ハ農産物交易場又ハ地方行政官署ノ指定場所以外ニ於テ米穀ノ賣却ヲ爲シ得ザルコト、第十條糧穀會社ノ米穀ノ輸出入關係規定ニ加ヘラレテ、糧穀會社ニ非ザレバ米穀ヲ鐵道又ハ船舶ニ依リ搬出スルコトヲ禁ジラレタルコト、第十九條米穀配給組合員ニ對スル地方行政官署ノ命令權關係規定ニ加ヘラレテ、地方行政官署ガ米穀配給組合ノ米穀ノ小賣價格ヲ認可シ或ハ變更シ又ハ決定シタルトキハ之ヲ告示スルコト、右告示サレタル價格ヲ越ヘテ取引ヲ爲シ得ザルコト、第二十一條米穀配給組合ニ關スル農商部大臣ノ決定事項ニ關スル規定ニ加ヘ、米穀ノ需給調節上農商部大臣ハ米穀ノ生産者又ハ取得者ニ對シ其ノ所有スル米穀ヲ賣却シ又ハ買却シ命ジ得ルコト其ノ他政府ノ統制權強化ニ關スル諸條項ガ追加サレタ。

○小麥及製粉業統制法中改正ノ件（勅令第二百三十八號）

○棉花統制法中改正ノ件（勅令第二百三十九號）

米穀管理法及右兩法ハ糧穀管理法及特産物專管法ト略同様ノ内容ヲ有スルガ如ク改正セラレタモノデ、之ニ依リ我が國各種農産物ハ略同様ノ方法ヲ以テ全面的ニ統制ガ強化セラレ、其ノ需給ノ圓滑及價格ノ適正ニ付一段ノ效果ガ期待サルコトナツタ。

金使用制限ノ強化

政府ハ舊ニ物價及物資統制法第十二條ノ規定ニ基キ奢侈品等ノ製造加工販賣ヲ制限シタ
本通報前號所載)ガ、之ニ對應シ全面的ニ金ノ使用及賣買ヲ禁止スルコトニ依リ金ヲ政府
ニ集中シ、以テ金ノ一層有効適切ナル利用ヲ圖ル爲、十月一日經濟部令ヲ以テ金使用規則
ノ改正ヲ行ヒ、即日之ヲ施行シタ。

本改正ノ要點ハ

一、從來九金以下ノ品位ノ金製品ノ製造、及金箔、金絲、金粉、金液及之等ヲ用ヒタル製品
・或ニ金鍍金ヲ施シタル物品ノ製造ニ付テハ認メラレテ居タガ今回ノ改正ニ依リ品位、品
目ノ如何ヲ問ハズ之ガ製造ヲ一切禁止シタコト

(但シ工業用若クハ醫藥用トシテ必要已ムヲ待ザルモノ又ハ省長若クハ新京特別市長ノ許
可ヲ受ケタルトキハ此ノ限在ザルコト從前通り)

二、金地金、金張地金、金箔、金絲、金粉、金液、金鍍金液又ハ金化合物ノ譲受者及譲渡人
ヲ左ノ通り限定シタコト(一)滿洲中央銀行又ハ産金買入人(二)産金買上法第七條ノ二ニ依
テ許可ヲ受ケタル金ノ賣買業者(三)工業用又ハ醫藥用トシテ必要已ムヲ待ザルモノ、製造
ニ使用スル者(四)省長又ハ新京特別市長ノ許可ヲ得テ金ヲ用ヒタル製品ノ製造修繕又ハ加
工ノ爲ニ金ヲ使用スル者

三、金ヲ用ヒタル製品ニシテ左ノ物品ニ付テハ、昭和八年一月一日以後之ガ賣買ヲ禁止スルコト

飲其用器具、厨房用器具、家具、什器、美術裝飾品、喫煙用器具、身起用品、裝身具、
牌盃、被服附屬品、文房具、紙製品若ハ玩具又ハ其ノ部分品

米穀、高粱、玉蜀黍 ニモ出荷奨励金ヲ交付

政府ハ茲ニ本特産年度ノ確保大豆ニ付テ收買價格ハ殆儘、別ニ出荷促進ノ爲出荷奨励金ヲ交付スルコト、ナツタガ（本週報前號所載）今同新穀年度ノ米穀及高粱、玉蜀黍 ニ付テモ大豆同様ノ趣旨ニ依リ出荷奨励金ヲ交付スルコト、ナリ、九月二十八日左ノ如キ米穀出荷奨励要領及ニ種穀出荷奨励要領ヲ發表シタ。

米穀出荷奨励要領

- 一、米穀ノ出荷ヲ促進スル爲奨励金ヲ交付スルコト
- 二、奨励金ハ明年一月末日迄ニ、種穀物交易場又ハ地方行政官署ノ指定シタル場所ニ出荷セラレタル新米穀ニ對シ之ヲ交付スルコト
- 三、奨励金額左ノ区分ニ依リ之ヲ交付スルコト
 - ノ十月末日迄百疋當三圓（六〇疋當一圓八〇錢）
 - ノ十一月一日ヨリ十一月末日迄百疋當二圓（六〇疋當一圓二〇錢）

三十二月一日ヨリ明年一月末日迄百疋當一圓(六〇疋當六〇錢)

四獎勵金ハ生産者ヨリノ買収ニ際シ之ヲ交付スルコト

五種穀會社ガ代理收買人ヨリ獎勵金付米穀ヲ引取ル場合ニ於テハ獎勵金期間内ニ出荷セラレタル米穀タルコトヲ十分確認スルニ必要ナル措置ヲ辦ズルコト

種穀出荷獎勵要領

一、主要種穀ノ價格ハ國民生活上極メテ重大ナル影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ生産者及消費
者ノ關係其ノ他ノ點ヲ十分勘察シ新穀價格ハ之ヲ踏攷クコト、スルモ新穀ノ出荷ヲ促進
スル爲獎勵金ヲ交付スルコト

二、獎勵金ヲ交付スベキ種穀ハ高粱及包米ニ限定スルコト

三、獎勵金ハ十月一日ヨリ十一月十五日迄ニ農産物交易場又ハ地方行政官署ノ指定シメル場
所ニ出荷セラレタル新穀ニ對シ之ヲ交付スルコト

四、獎勵金額ハ百疋當二圓(六〇疋當一圓二〇錢)トスルコト

五、獎勵金ノ交付ハ生産者ヨリノ買収ニ際シ買取價格ニ加算入ノ形式ニ依リ之ヲ交付スルコ
ト

ノ種穀ハ種穀會社ノ收買價格ヲ基準トシタル交易場又ハ指定場所ニ於ケル買入價格ニ獎
勵金ヲ加算シタル價格ヲ以テ生産者ヨリ買付ルコト

六、種穀ヨリ種穀會社又ハ其ノ代理收買人ガ獎勵金付種穀ヲ收買スル場合ハ種穀ノ買付ケ

タル價格ヲ基準トスルコト

右ノ場合種穀ハ専該種穀ニ關シ獎勵金付種穀タルコトヲ證スル書類（例ハバ交易場出荷票）ヲ添付スルコト

六種穀會社ニ於テ現ニ負擔シツ、アル冬季及夏季運費差額負擔ハ九月末日ヲ以テ打切ルコト

主要種穀及雜穀ノ收買、販賣價格決定

政府ハ十月五日主要種穀（高粱、玉蜀黍、粟）及雜穀ノ新穀收買價格及販賣價格ヲ發表シタ。之ニ依ルト主要種穀ノ收買價格ハ本年二月十八日決定ノ新穀收買價格ヲ踏襲トシ、此ノ内高粱、玉蜀黍ノ二品目ニ付テハ各百斤當二圓ノ出荷獎勵金ヲ交付スルコトニナツテ居ル。（前項参照）又雜穀ノ收買價格ハ出荷獎勵金ハ交付シナイガ、生産者ノ運費等ヲ考慮シテ稗以外ハ幾分ノ引上ゲトナツテ居ル。而シテ主要種穀及雜穀共其ノ販賣價格ハ各當該地取ニ於ケル收買價格ニ一律ニ一圓三十六割（運費、獎勵金、與農合作社手数料、種穀會社中間運費、保管費等ヲ含ム）ヲ加算シタモノデアアル。

主要種穀及雜穀ノ收買基準價格左ノ通りデアアル。

種穀收買價格

一、主要種穀（高粱、玉蜀黍、粟）ノ收買價格ハ本年二月十八日決定シタル新穀收買價格ニ

括置ク

大連基準價格(百斤當)

品目

一、一、七

高粱

一、一、五〇

粟

一、三、二六

二、雜穀ノ收購價格

(1) 品目

大連基準價格

安東基準價格

百斤當

百斤當

赤小豆

一、五、七五

一、五、七九

白小豆

一、四、九七

一、五、〇一

花小豆

一、四、九七

一、五、〇一

藥小豆

一、四、六五

一、四、六九

雜小豆

一、四、六五

一、四、六九

標準

赤小豆以外ノ小豆混入率六%以内、
 品質普通ニシテ灰雜物混入少キモノ
 白小豆以外ノ小豆混入率六%以内、
 品質普通ニシテ灰雜物混入少キモノ
 花小豆以外ノ小豆混入率六%以内、
 品質普通ニシテ灰雜物混入少キモノ
 藥小豆以外ノ小豆混入率六%以内、
 品質普通ニシテ灰雜物混入少キモノ
 品質普通ニシテ灰雜物混入少キモノ

綠(吉)豆	三、〇〇	二、〇四	色澤、品質及粒揃普通ニシテ夾雜物混入少キモノ
種 黍	一、四、五二	一、四、五六	品質普通、種黍混入率普通ニシテ夾雜物混入少キモノ
稷 黍	一、三、〇二	一、三、〇六	品質普通ニシテ夾雜物混入少キモノ
稗	六、七〇	六、七四	品質普通ニシテ夾雜物混入少キモノ
蕎 麥	一、二、二九	一、二、三三	品質普通ニシテ夾雜物混入率八%以内ノモノ

右雜穀ノ大運基準千斤以内ノ國內各驛又ハ埠頭渡收買價格ハ大運基準價格ヨリ鐵道運費額ヲ差引キタル價格トシ、大運基準千斤ヲ超ユル各驛又ハ埠頭渡收買價格ハ大運基準價格ヨリ千斤ノ鐵道運費額ヲ控除シタル均一價格トス 但シ安東、綏安東、吳家屯間及奚城線各驛收買價格ハ安東基準價格ヨリ鐵道運費額ヲ控除シタル價格トシ、河北線ニ於テハ營口收買價格ヨリ二十噸ヲ差引キタル價格ヲ河北驛收買價格トシ、其ノ他各驛收買價格ハ河北收買價格ヨリ河北、各驛間ノ鐵道運費額ヲ控除シタル價格トス

(2)

品 目	大運基準價格	綏津基準價格
碗 豆	百 斤 當 二、四、二五	百 斤 當 一、四、二五

(標準 品質普通ニシテ夾雜物混入少キモノ)

豌豆ノ收買地域ヲ大連リンク地域連京線田家、十里河間、營口線及河北線各驛雜碎リン
ク地域京圖線南勝、圖們間及朝陽線各驛トシ、之等各驛收買價格ハ各基準及基準價格ヨ
リ鐵道運費額ヲ控除シメル價格トス 但シ河北線各驛收買價格ハ(1)ニ準ズルモノトス
三、大麥及燕麥ノ收買價格

品目	南滿地方		北滿地方		標準
	百斤當	圓當	百斤當	圓當	
大麥	一五〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	在來種精選品三等
燕麥	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	再來種精選品三等

右價格ハ最寄驛又ハ埠頭貨單米又ハ船積價格トス地域中北滿トハ吉林、濱江、龍江、北
安、黑河、三江、東安、牡丹江、簡島、興安東、興安北ノ十一省トシ南滿トハ奉天、通
化、安東、錦州、熱河、興安南、興安西ノ七省トス

糧食組合規則公布

政府ハ今回糧穀管理法第十六條及特種勸導管理法第十九條ノ規定ニ基キ新京特別市、市、縣
區ノ區域毎ニ糧食組合ヲ結成セシメルコトヲシ、九月三十日農林部令ヲ以テ糧食組合規則
ヲ公布、十月一日ヨリ之ヲ施行シタ。

本令ノ目的ハ從來惡質ノ糧食ガ流通シ、統制生産物ノ流通ヲ著シク不圓滑ナラシメテ居タ

實情ニ鑑ミ、之等ヲ取締ルト共ニ福祉ノ機能ヲ活用シテ統制農産物ノ需給ノ調節、價格ノ
適正化ニ資セシメントスルモノデアアル。同規則ノ概要左ノ通りデアアル。

一、福祉組合（以下組合ト稱ス）ハ福祉及特産物（以下統制農産物ト稱ス）ノ需給ノ調節及
價格ノ適正ヲ圖ル爲左ノ業務ヲ行フ

一、組合員ノ統制農産物ノ買入及賣渡ニ關スル統制及調整

二、地場消費向統制農産物ノ買入及卸賣

三、統制農産物ノ取引、精選、保管等ノ改善ニ關スル事項

四、其ノ他前各號ニ附帶スル業務

其ノ他組合ニ於テ必要アル時ハ前項第二號ノ場合ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ組合ノ名
ニ於テ農産物交易場又ハ福祉管理法第三條第一項若ハ特産物管理法第三條第一號ノ項
定場所（地方行政官署ノ指定場所及農務大臣ノ別ニ定ムル場所）ニ於テ統制農産物
ヲ買入レ之ヲ法令ノ定ムル所ニ依リ賣渡シ得ル（第二條）

二、前條第二項ノ規定ニ依リ組合ノ名ニ於テ統制農産物ノ買入及賣渡ヲ爲ス場合組合ハ定款
ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ出資セシムル（第三條第一項）

三、組合ハ省長又ハ新京特別市長ノ認可ニ依リ成立スル（第七條）

四、第七條ノ規定ニ依リ組合が成立シタトキハ地區内ノ福祉ハ當然組合トナル

組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ當該地方行政官署ノ認可ヲ受ケ地區外ノ福祉ヲ組合員ト爲

シ待ル（第八條）

卸賣物價（七月分）

七月分ノ全滿卸賣物價ヲ概觀スルニ穀類ハ小豆及綠子ノ抵洛等ニ因リ調隊貯品ハ妙糖ノ全滿主要都市一率價格制ニ因ル抵洛ニ因リ、衣料及同原料品ハ日本市況ヲ反映セル人絹糸ノ抵洛等ニ因リ何レモ微落ヲ示シタガ、食料品ハ生鶏、鶏卵等ノ騰貴ニ因リ昂騰シ、其ノ他各類共微騰シテ總指數ハ前月ニ比シ〇・七%前年同月ニ比シ三〇・五%ノ昂騰ヲ示シタ。經濟部商務司調査七月分全滿（八大都市）卸賣物價指數（商品用途七類別）左ノ通りデア

類別	前月基準	前年同月基準	康徳四年平均基準
穀類	九九〇	一二二・七	一九二・二
食料品	一〇五・二	一三六・八	二一六・一
調味嗜好品	九九三	一二三・一	一七三・九
衣料及同原料品	九八一	一三三・〇	二四九・一
金屬及建築材料品	一〇〇・六	一二六・四	一九六・九
燈火燃料品	一〇〇・〇	一四一・七	一八〇・三
雜品	一〇四・五	一四一・四	二一六・四
總指數	一〇〇・七	一三〇・五	二〇五・九

尙調査品目六十一種中、騰貴十種、下落十七種、保合三十四種デ、騰貴ノ主ナルモノハ生
 鶏(一七〇%)、鶏卵(七〇%)、丸釘(六〇%)、白ペイント(六四%)、硫化黒(四七一%)
 等、低落ノ主ナルモノハ小豆(七八%)、毛葛(八五%)、紋パレム(七三%)、人造藍
 (五一%)等デアル。

德七上半季中ノ全滿金融機關預金貸出概況

經濟部銀行科發表ニ係ル本上半季中ノ全滿(關東州ヲ含ム)金融機關ノ每月末ニ於ケル
 預金(郵政預金及郵便貯金ヲ含ム)及貸出總額ハ左ノ通りデ、貸出ハ依然増勢ヲ續ケ、前
 年上半季中ノ三億九千三百萬圓増、同下半季中ノ七億九千九百萬圓増ニ對シ本季中ハ五億
 七千九百萬圓ノ増加ヲ示シタガ、預金ハ前年上半季中ノ二億七千三百萬圓増、同下半季中
 ノ四億九千四百萬圓増ニ對シ本季中ハ一億一百萬圓ノ減少ヲ示シタ。
 而シテ昨年來貸出ノ著増ニ比シテ預金ノ増勢ガ鈍化シツ、アツタノデハアルガ、預金ガ
 本年初來漸減ノ傾向ヲ示スニ至ツタコトハ注目スベキデアル。之ハ主トシテ中銀ニ於ケル
 政府預金ノ減少ニ基因スルモノデ、一般預金ニ於テハ依然増加シツ、アルガ、増勢ガ益々
 鈍化シツ、アルコトハ否定シ得ナイ、本年初來ノ每月末全滿金融機關預金、貸出總額ヲ示
 セバ左ノ通りデアル。

(單位千圓)

預 金

貸 出

一 月

一、八九九、一九一

二、五〇八、一九九

二月	一八一四一二五	二五三六七七九
三月	一七九七六六四	二六七八六七三
四月	一八〇六三三一	二八〇六六七三
五月	一八一六六六九	二九七二三五五
六月	一七七四二五八	二九七七九八二

次ニ右ヲ各金融機關別ニ見ルニ、預金ニ於テハ中銀及中國側銀行ノ減少ノ外ハ何レモ増加ヲ示シ、貸出ニ於テハ各機關共一律ニ増加ヲ示シテ居リ、就中當行中銀、商工金融合作社及農林合作社ノ増加ガ顯著ナル。

六月末現在各機關別預金、貸出總高ヲ昨年末分ト對示スレバ左ノ通りデアル。

預金

金融機關別	七年六月末	六年十二月末	増	減
滿洲中央銀行	四四四、六五三、七〇〇	七二五、八九四、九六一	(+) 二八一、七二九、五九一	
滿洲興業銀行	六二七、三四三、〇四一	五六八、六九一、五九六	(+) 五八、六五二、四四五	
內國普通銀行	一三八、一八〇、七九七	一〇一、九〇〇、七五六	(+) 三六、二八〇、〇四一	
日本側銀行	三二七、一五四、二五七	二〇二、六七三、八二六	(+) 二四、四八〇、四三一	
中國側銀行	一五九、八〇三、三四	一七〇、六七五、三〇	(+) 一〇、八六七、九六	
歐米側銀行	二三、五一三、二七八	二〇、一一四、二七二	(+) 三、三九八、〇〇六	

金融機關別	七年六月末	六年十一月末	增減
商工金融合作社	三三、三二九、三八〇	六六、〇五三、七六九	卅 二四、七四二、五七七
興農合作社	五三、四六六、九六六		
歸東州内金融組合	一四、〇七三、〇八二	一〇、九七七、〇五五	卅 三、〇九六、〇二七
無盡會社	七、七四九、九七二	五、八四三、四四五	卅 一、九〇六、五二七
郵政儲金及郵便貯金	一九〇、三〇二、四〇六	一六二、五三〇、七九八	卅 二八、七七二、六〇八
合計	一、七七四、二五八、二八三	一、八七五、七四八、〇〇八	卅 一〇一、四八九、七二五
貨出			
金融機關別	七年六月末	六年十一月末	增減
滿洲中央銀行	一、〇二九、一二一、〇一九	八七二、一九〇、〇三〇	卅 一五七、九三〇、九八九
滿洲興業銀行	一、〇一六、九二七、一四八	七九〇、三七二、五八八	卅 二二一、五五四、五六〇
内國普通銀行	一二九、五二〇、一一〇	九八七、二九七、七三三	卅 三〇、七九〇、三三七
日本例銀行	五四四、九九三、四〇一	五〇九、七三一、八五七	卅 三五二、七一一、五四四
中國例銀行	一六五、八八六、九六六	一四八、七三三、五五五	卅 一七、一五三、四一一
以米例銀行	一一、三二四、三三一	一一、一五三、三八一	卅 一六九、九五〇
商工金融合作社	三一、七六三、三八七	八二、〇〇六、六九三	卅 五〇、二四三、三〇六
興農合作社	一七五、〇一二、七九六		卅 一三五、七七三、四九〇

關東州内金融組合 一二、一五二、九三七 九三五、五四三三 (出) 三、七九、三五〇四
 無盡會社 一五、五七九、八〇九 一、九七九、九七九 (出) 三、三九、九八三〇
 合計 二、九七七、九八二、六三四 二、三九八、三七九、二八九 (出) 五、七九、六〇三、三四五
 註、右表中后工金融合作社及興農合作社ノ六年十二月末分ハ預金、貸出共金融合作社、金融
 會及滿洲國內金融組合ノ合計額デアル。

週間發表經濟統計

△貿易旬報

經濟部貿易科發表

八月中旬

(單位千圓)

	輸出	輸入	輸出、() 入超
日本	一一、二七一	四三、八四二	() 三二、五七一
中國	三、一〇三	一、九〇九	(出) 一、一九四
其他	一、一三九	七、七五〇	() 六、六一一
合計	一五、五一三	五三、五〇一	() 三七、九八八

一月以降累計

	輸出	輸入	輸出、() 入超
日本	三二八、三八四	一、〇四三、四九五	() 七、一五一一一
中國	一一五、〇八四	五二、五七九	(出) 六二、五〇五

其他

二六、三〇三

一〇五、一八七

七八、八八四

合計

四六、九七、七一

一、二〇一、二六一

七三、〇四九〇

△全國當舖貸出殘高

大興公司調査

七月末

省別

調査店数

貸出残高

吉林省 (新京特別市ヲ含ム)

一六六

一三、五二一、五五六

龍江省

五三

四、七一五、一〇三

北安省

三六

六、七〇六、八二六

黑河省

一

一、七三、五一二

三江省

二二

一、九五八、七七八

東安省

一

八、〇九七

江丹江省

一九

一、一七六、八八四

濱江省

一一〇

一、二、六九六、七九五

閩島省

四

一、三九、四九六

通化省

一一

六、七三、四九六

安東省

六三

一、九六八、九三六

奉天省

三九五

二、七、二六〇、〇〇〇

錦州省
 熱河省
 興安省
 合計
 前月末合計

九
 八
 二

九
 八
 〇

一
 一
 八

一
 〇
 〇

七
 一
 一

八〇八七、九七三

一、八三三、九〇八

二、一〇二、五二三

八三、〇二二、八八三

七七、一六九、三五九

◎日本財界事情

國家總動員審議會十一勅令案ヲ可決

第十三回國家總動員審議會ハ九月三十日及十月一日ノ兩日ニ亘ツテ開催、高度國防國家ノ建設、國家總動員體制ノ完備ヲ目的トスル左ノ國家總動員法ニ基ク十一勅令案要綱ヲ可決シタ。本勅令案ハ其ノ後法制局ニ於テ法文化ヲ行ヒツ、アリ、近ク公布セラル、筈デアアル。

國民徵用令及國民職業能力申告令中改正ニ關スル勅令案、從業員ノ移動防止ニ關スル勅令案、船員ノ徵用ニ關スル勅令案、船員ノ使用等統制ニ關スル勅令案、土地及建物ノ價格ノ統制ニ關スル勅令案、銀行等ニ關スル資金運用ノ命令ニ關スル勅令案、價格等統制令中改正ニ關スル勅令案、地代及家賃ノ統制ニ關スル勅令案、船員ノ給與ニ關スル勅令案、賃金ノ統制ニ關スル勅令案、會社經理ノ統制ニ關スル勅令案

右勅令案ノ概要ハ大要左ノ如キモノデアアル。

△會社經理ノ統制ニ關スル勅令案

本勅令案ハ從來ノ會社利益配當及資金融通令中ノ利益配當ノ制限、會社經理ノ監督ニ關スル規定ト會社職員給與臨時措置令トヲ統合シテ一法令トシ會社ノ利益金處分ニ付テノ統制ヲ強化シ會社經理ノ監督ヲ嚴重ニスルト共ニ會社ノ諸給與ヲ適正ナラシメントスルモノデ、臨時資金調整法ノ補充的規定ヲ含ンデキルモノデアアル。其ノ要綱概要左ノ如シ。

一、總則

第一、會社ハ國家目的達成上國民經濟ニ於ケル責任ヲ分擔スルコトヲ以テ經營ノ本義トシ

其ノ經理ニ關シ左ノ各號ニ掲グル事項ノ遵守ヲ旨トスベキコト

(一) 資金ハ之ヲ最モ有益ニ活用シ苟モ人的及物的資源ノ濫用ニ陥ルガ如キコトハ嚴ニ之ヲ避クルコト

(二) 經費ノ支出及資産ノ償却ヲ適正ナラシムルコト

(三) 役員社員其ノ他從業者ノ給與及其ノ支給方法ヲ適正ナラシムルコト

(四) 利益ノ分配ヲ適正ナラシメ自己資金ノ蓄積ニ努ムルコト

ニ利益配當及積立金

第三、資本金二十萬圓以上ノ會社經事業年度ニ付左ノ各號ノ率ノ中何レカ低キ率ヲ超ユル率ニ依リ利益配當ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

(一) 配當金が自己資本（拂込資本金額及積立金額ノ合計金額ヲ謂フ）ニ對シ年百分ノ八

ニ相當スル金額ト爲ル配當率

(二) 前期配當率 左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テハ各其ノ定ムル率ヲ前項第二號ノ率トシ

前項規定ヲ適用スルコト

(三) 前期配當率ガ年百分ノ十二達セザルトキハ前期配當率ニ年百分ノ一ヲ加ヘタル率、但シ其ノ率ガ年百分ノ六ニ達セザルトキハ年百分ノ六トシ年百分ノ十ヲ超ユルトキ

八年百分ノ十トス

(四)直前ノ事業年度ニ付利益配當ヲ爲サザリシトキ又ハ設立後最初ノ事業年度ノ利益配當ナルトキ八年百分ノ六

(イ)資本金二十萬圓未滿タリシ會社資本増加ニ依リ資本金二十萬圓以上トナリタル後最初ノ事業年度ニ付爲ス利益配當ナルトキハ第一號ノ規定ニ拘ラズ年百分ノ六

(ニ)配當金ガ自己資本ニ對シ年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額トナル配當率ガ前三號ノ率ヨリ高キトキハ其ノ率、但シ其ノ率ガ年百分ノ十ヲ超ユルトキハ年百分ノ十トスルコト

第三、合併會社ハ合併後最初ノ事業年度ノ利益配當ヲ爲サントスルトキハ利益配當ノ率ガ年百分ノ六ヲ超エザル場合ヲ除キ第二ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ申請ニ基キ主務大臣ガ當該會社ノ經理ノ實情及合併前ノ各會社ノ利益配當其ノ他經理ノ實情ニ基キ指定シタル率ヲ超エザル利益配當ノ率ニ依ルベキコト

第四、主務大臣ハ當該會社ノ經理ノ實情ニ照シ必要アリト認ムルトキハ將來ノ配當率ニ付適當ト認ムル率ヲ指定シ得ルコト

第五、主務大臣ハ會社收益ノ狀況其ノ他經理ノ實情ニ照シ必要アリト認ムルトキハ會社ニ對シ法定準備金ノ外特別ノ積立金ノ積立ヲ命ジ又ハ當該積立金ノ運用方法ニ付必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト

三、役員及社員給與

第六本章ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル會社ニ之ヲ適用スルコト

(一)相互會社以外ノ會社ニシテ資本金二十萬圓以上ノモノ

(二)相互會社

(三)役員及社員ノ合計數常時三十人以上ノ會社

第七、第八、第九(略)

第七役員ノ給與ハ左ノ各號ニ掲グル給與ヨリ成ルコト

(一)報酬(會社ガ役員ニ對シ一定ノ金額ニ依リ定期ニ支給スル給與ニシテ經費トシテ經理スルモノヲ謂フ、但シ在勤手當其ノ他特定ノ事由ニ依リ特定ノ役員ニ對シ支給スルモノヲ除ク)

(二)賞與(會社ガ役員ニ對シ定期ニ利益金處分ニ依リ支給スル給與ヲ謂フ)

(三)退職金(會社ガ退職シタル役員ニ對シ支給ノ給與ヲ謂フ)

(四)臨時ノ給與(會社ガ役員ニ對シ臨時ニ支給ノ給與ヲ謂フ)

(五)雜給與(前各號ニ掲グル給與ヲ除クノ外會社ガ役員ニ對シ支給スル給與ヲ謂フ)

第十二會社ハ每事業年度ニ於テ役員ニ對シ其ノ合計金額ガ直前ノ事業年度ニ於テ支給シタル役員報酬ノ合計金額ヲ超ユル報酬ヲ支給セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

會社ハ直前ノ事業年度ニ於テ役員報酬ヲ支給セザリシ場合ニ於テ役員報酬ヲ支給セントスルトキ又ハ設立後最初ノ事業年度ニ於テ役員報酬ヲ支給セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト、合併後最初ノ事業年度ニ於テ役員報酬ヲ支給セントスルトキ又ハ第六各號ノ一ニ掲グル會社トナリタル後最初ノ事業年度ニ於テ役員報酬ヲ支給セントスルトキ亦同ジキコト

第十二會社ハ每事業年度ニ付其ノ合計金額ガ左ノ各號ノ金額ノ中何レカ少キ金額ヲ超ユル役員賞與ヲ支給セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

(一)法定賞與額（命令ノ定ムル割合ヲ當該事業年度ノ純益金ニ乘ジテ得タル金額ヲ謂フ）
(二)前期賞與額（直前ノ事業年度ニ付支給シタル役員賞與ノ合計金額ヲ謂フ）
左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テハ各其ノ定ムル金額ヲ前項第二號ノ金額トシテ前項ノ規定ヲ適用スルコト

(一)前期賞與額ガ法定賞與額ニ達セザルトキハ前期賞與額ノ百分ノ百二十二相當スル金額、但シ其ノ金額ガ法定賞與額ニ對シ百分ノ七十ノ割合ニ達セザルトキハ法定賞與額ノ百分ノ七十二相當スル金額

(二)直前ノ事業年度ニ役員賞與ヲ支給セザリシトキ又ハ設立後最初ノ事業年度ニ付支給スル役員賞與ナルトキハ法定賞與額ノ百分ノ七十二相當スル金額

(三)合併後最初ノ事業年度ニ付支給スル役員賞與ナルトキ又ハ第六各號ノ一ニ掲グル會

社トナリタル後最初ノ專業年度ニ付支給スル役員賞與ナルトキハ第一號ニ拘ラズ法定賞與額ノ百分ノ七十二相當スル金額

第十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、(略)

第二十六社員ノ給與ハ左ノ各號ニ掲グル給與ヨリ成ルコト

(一)基本給料(會社ガ社員ニ對シ一定ノ金額ニ依リ定期ニ支給スル給與ノ中基本トナルベキ固定給ヲ謂フ)

(二)手當(基本給料ヲ除クノ外會社ガ社員ニ對シ一定ノ金額、數量若ハ割合ニ依リ定期ニ若ハ職務ニ關シ一定ノ事實アル場合ニ支給スル給與又ハ繼續シテ利用セシメル住居其ノ他ノ施設ヲ謂フ)

(三)賞與(前二號ニ掲グル給與ヲ除クノ外會社ガ社員ニ對シ定期ニ支給スル給與ヲ謂フ)

(四)退職金(會社ガ退職シタル社員ニ對シ支給スル給與又ハ之ニ相當スル金額ニシテ在職中ノ社員ニ對シ前拂スルモノヲ謂フ)

(五)臨時ノ給與(前四號ニ掲グル給與ヲ除クノ外會社ガ社員ニ對シ臨時ニ支給スル給與ヲ謂フ)

第二十六會社ハ命令ノ定ムル限度ヲ超エテ社員ノ初任給ヲ支給スルコトヲ得ザルコト

第二十二會社ハ命令ノ定ムル限度ヲ超エテ社員ノ基本給料ヲ昇給セシメントスルトキハ

主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第二十三、主務大臣ハ社員給與ノ適正ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ會社ニ對シ社員ノ初任給又ハ基本給料ノ昇給ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト

第二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、(略)

第二十九會社ガ毎賞與期間ニ付社員ニ對シ支給スル賞與ノ總額ト命令ニ依リ支給シ得ザル手當以外ノ手當ノ當該賞與期間ニ於ケル支給總額トノ合計金額ハ命令ノ定ムル限度ヲ超ユルコトヲ得ザルコト、但シ命令ノ定ムル場合ハ之ノ限リニ在ラザルコト
前項但書ニ依リ前項ノ限度ヲ超エテ支給スル金額ニ付テハ會社ハ之ヲ經費トシテ經理スルコトヲ得ザルコト、但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ之ノ限リニ在ラザルコト

主務大臣ハ社員給與ノ適正ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ第一項ノ賞與又ハ手當ノ支給方法又ハ其ノ金額ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト

第三十會社ハ社員ノ全部又ハ大部分(二以上ノ事務所、工場又ハ事業場アル場合ハ各事務所、工場又ハ事業場ニ付テ謂フ)ニ對シ時期ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ支給セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第三十一、三十二、(略)

四、經費及償却

第三十三、命令ノ定ムル會社ニ付テハ毎事業年度ニ於ケル機密費、交際費、接待費、廣告

宣傳費、寄附金、福利施設費及研究費ニ關シ支出ノ豫定額ヲ報告セシメ必要ナル統制ヲ加フルコト

第三十四、主務大臣ハ會社ノ經費ノ支出ヲ適正ナラシムル爲必要ナリト認ムルトキハ會社ニ對シ之ニ關シ必要ナル命令ヲナシ得ルコト

第三十五、命令ノ定ムル會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ固定資産ノ償却ヲ爲スベキコト、但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハコノ限りニ在ラザルコト

第三十六、主務大臣ハ會社ノ處理上必要アリト認ムルトキハ會社ニ對シ資産ノ償却ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト

五、資金運用

第三十七、相互會社以外ノ會社ニシテ資本金二十萬圓以上ノモノ及相互會社（第一號及第三號ニ付テハ金融機關其ノ他命令ヲ以テ定ムル會社ヲ除ク）ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ掲グル事項ニ付主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

(一) 有價證券ノ取得又ハ處分

(二) 無體財產權ノ取得又ハ處分

(三) 資金ノ貸付又ハ借入

主務大臣ハ會社ニ對シ借入金ノ限度ヲ指定シ得ルコト

第三十八、主務大臣ハ會社ノ經理ヲ適正ナラシムル爲必要アリト認ムルトキハ會社ニ對シ

資金ノ運用ニ關シ必要ナル制限ヲナシ得ルコト

六、經理検査

第三十九、主務大臣ハ會社ノ資産、負債及損益ノ内容、利益金ノ處分其ノ他經理ニ關シ、報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ、業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第四十、會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及原價計算ニ關スル書類ヲ作成スベキコト

前項ノ財産目錄ニ記載スベキ財産ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ評價スベキコト

第四十一、會社ハ第四十二依リ作成スベキ書類ノ調整ニ適合シタル帳簿ヲ備へ整然且明瞭ニコレガ記帳ヲ爲スベキコト

主務大臣ハ會社ニ對シ勘定及帳簿組織ヲ指定スルコトヲ得ルコト

第四十二、主務大臣ハ會社ヲ指定シテ決算ニ關シ當該官吏ノ監査ヲ受クベキコトヲ命ジ得ルコト前項ニ依リ決算ニ關シ監査ヲ受クベキ命令ヲ受ケタル會社ハ當該官吏ノ監査ヲ受ケタルコトノ證明ヲ受ケタル後ニ非ザレバ利益金ノ處分ヲナシ得ザルコト

七、雜則

第四十三、本要綱ニ依ル處分ニシテ事業ノ重要ナルモノハ會社經理審査委員會ノ議ヲ經ベキコト、但シ第三十七ニ依ル處分ニシテ事業ノ重要ナルモノハ臨時資金審査委員會ノ

議ヲ經ベキコト

第四十四本制度ハ前各號ニ準ジ各外地ニモ之ヲ實施スルコト

△銀行等ニ關スル資金運用ノ命令ニ關スル勅令案

第一本案ハ銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫、北海道、府縣及樺太ヲ區域トスル信用組合聯合會、東洋拓殖、臺灣拓殖、南洋拓殖各會社、朝鮮金融組合聯合會（以下金融機關ト總稱ス）及有價證券引受業法ノ證券引受會社（以下證券引受會社ト稱ス）並ニ金融機關又ハ證券引受會社ニ非ズシテヨリル資金ノ貸借若ハ其ノ仲介又ハ手形ノ賣買若ハ其ヲ仲介ヲ爲スルモノニシテ主務大臣ヲ指定スル者（以下ビルゾト稱ス）ニ之ヲ適用スルコト

第二主務大臣ハ金融機關ニ對シ資金ノ運用ニ關スル計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ資金ノ運用方法ヲ指定シ得ルコト

第三金融機關事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル資金以外ノ命令ノ定ムル資金ノ貸出ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第四證券引受會社又ハビルゾト稱スル命令ノ定ムル資金ノ貸出ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第五第三及第四ニ依ル許可ニ關スル處分ニシテ事業ノ重要ナルモノニ付テハ臨時資金審査委員會ノ議ヲ經ベキコト

第六、主務大臣第三及第四ニ依ル許可ヲ爲スニ付必要アリト認ムルトキハ資金ノ貸出ヲ受ケントスル者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ徵シ得ルコト

第七、主務大臣ハヒルブローカーヲシテ其ノ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第八、主務大臣生産力擴充資金其ノ他時局ニ緊要ナル資金ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲必要アリト認ムルトキハ銀行ニ對シ資金ノ融通又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ買入ヲ命ジ得ルコト

主務大臣前項ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ資金融通審査委員會ノ議ヲ經ベキコト

第九、政府ハ第八第一項ニ依ル命令ニ因リ銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ銀行ニ對シ通常生ズベキ損失ヲ補償スルコト

第十、第九ニ依リ政府ガ銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付シ得ルコト

第十一、主務大臣ハ銀行ガ第八第一項ニ依ル命令ニ依リ資金ノ融通ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ融通ニ關シ必要アリト認ムルトキハ資金ノ融通ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第十二、本制度ハ前各號ニ準ジ各外地ニモ之ヲ實施スルコト

而シテ右要綱ノ趣旨ニ付テ大藏當局ハ左ノ如ク發表シタ。

一、第二ノ資金運用計畫ノ變更及資金運用方法ノ指定ハ金融機關ノ資金運用計畫ヲシテ資金
統制計畫ニ適應セシムル爲政府ニ於テ適宜之ニ指導ヲ加フルコトヲ目的トスルモノデア
ル

二、第三及第四ノ貸出ノ統制ハ資金ガ投機、思惑、買溜等不健全ナル方面ニ使用セラル、コ
トヲ抑制シ事業界ニ必要ナル資金ヲ潤澤ニ供給センコトヲ目的トスルモノニシテ其ノ方
法ハ前年ノ実績ヲ一應ノ基準トシテ其ノ基準マデノ貸出ハ自由トシ、基準ヲ越スル貸
出ニ付テ許可ニ依ラシメ尙必要ニ依リ基準ノ設定又ハ増額ヲ認容スルモノナルヲ以テ、
之ガ爲ニ事業界ガ其ノ所要資金ノ調達ニ苦シムガ如キ虞ハ憂モナイ

三、第八及第九ノ所謂融資命令ニ付テハ大體現在ト同趣旨ノ規定ヲ設ケタモノナルガ、只之
ヲ廣ク一般ノ銀行ニ命ジ得ルコト、シタ、尤モ差當リ從來ノ日本興業銀行ノ外ニ朝鮮殖
産銀行ヲ利用スルコト、シ其ノ他ノ一般銀行ヲ利用スルコトハ之ヲ考慮シテキナイ

△價格等統制令中改正ニ關スル勅令案

今回改正ノ主要點ハ九・一八價格停止令ノ有効期限ヲ向フ一ヶ年間延長シテ明年十月十九
日迄トシタルコト、共通ノ公定價格設定至難ナルモノニ對シ一品毎ノ公定價格ノ設定ヲ可
能トセルコト等デアル。要綱左ノ如シ。

價格等統制令中左ノ通り改正スルコト

第一、第二條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フルコト

前項ニ依ル額ノ判定困難ナル場合ニ於テ受領書ノ申請ニ對シ主務大臣（主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官）（其ノ額ノ指示ヲ爲シタルトキハ其ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做スコト

第三、第七條ノ次ニ第七條ノ二トシテ左ノ一條ヲ加フルコト

主務大臣ノ指定スル物ノ價格等（有價證券ノ價格及賃賃料ヲ除ク以下同ジ）ハ第六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ認可ヲ受クベキコト

前項ニ依リ認可ヲ受ケタルトキハ第二條乃至第四條ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂又ハ受領シ得ザルコト

第三、第十二條第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ムルコト

一、有價證券、繭、生絲、棉花又ハ綿布ノ取引所ニ於ケル賣買取引ノ價格

二、關東州及滿洲以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引ノ價格並ニ關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル運送ノ運送賃

第四、第十八條ヲ左ノ如ク改ム

第二條乃至第四條ハ昭和十六年十月十九日迄其ノ效力ヲ有スルコト、但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍ツテ其ノ效力ヲ有スルコト
第五本制度ハ前各號ニ準ジ各外地ニモ之ヲ實施スルコト

△土地及建物ノ價格ノ統制ニ關スル勅令案

土地及建物ノ價格ハ九・一八停止令カラ除外サレテキル結果猛烈ナ思惑買賣行爲ガ行ハレテキルノデ此ノ思惑ヲ封ズル爲昨年九月十八日以後ニ新築サレタ建物ト同日以後ニ賣買サレテ取得シタ土地、建物ノ賣買ニ對シテハ總テ九・一八基準ヲ以テ其ノ價格ヲ抑制スルコトヲ眼目トシタモノデ、九・一八以前ニ賣買サレタ土地、建物ニ付テハ近ク最高標準價格ヲ設定シテ抑制ヲ圖ル筈デアアル。

要綱ノ概要左ノ如シ。

第一、昨年九月十八日以後ニ新築サレタ建物デ自分ガ現ニ使用マ又ハ他人ニ貸シテキル場合、其ノ建物ノ賣價ハ建築費ニ登記料、不動産取得税、同附加税、受益者負擔金等管理費ヲ加算シタ額以内ニ限定スル

同ジク昨年九月十八日以後ニ取得シタ建物ト宅地ニ付テハ當時ノ買取價格ニ前項ノ公租公課等ノ必要費用ヲ加ヘタ價格以上ニテハ賣買出來ナイ、但シ土地ノ地均シ、家屋ノ増築、大修繕ヲ施シタ場合ハ地方長官ノ許可ヲ經テ其ノ費用ヲ認マラレル

第二、前項ノ價格制定ガ困難ナル時ハ地方長官ノ認可ヲ受ケル、此ノ爲ニ府縣ニ土地建物評議委員會ヲ設置スル

第三、宅地分讓地ノ分讓價格ハ九・一八價格ノ如何ヲ問ハズ總テ地方長官ノ認可ヲ要スル

△地代及家賃ノ統制ニ關スル勅令案

昨十月二十日總動員法第十九條ニ基キ發動セラレタ「地代家賃統制令」ガ十月十九日

ヲ以テ滿期トナルノデ其ノ後ニ備ヘル爲現行令ヲ全面的ニ改正シタリノデ、其ノ内容ハ本週報第一八九號記載「地代家賃適正標準」ニ於テ記述セル通りデアアル。

△賃金ノ統制ニ關スル勅令案

適正賃金ノ設定ノ建前カラ現在ノ賃金統制令ニ賃金臨時措置令ヲ吸收セシメテ一本トシタモノデ、改正ノ主要點ハ一般經驗工ノ最低賃金並ニ最高初給賃金ノ決定、標準賃金ノ設定、賃金總額ノ制限、手當其ノ他ノ支給方法ニ關スル命令、賃金臺帳ノ常備等デアアル。

其ノ内容ハ本週報第一九一號記載「賃金統制方策」ニ於テ記述セル如キモノデアアル。

△國民徵用令及國民職業能力申告令中改正ニ關スル勅令案

國民徵用令ノ改正ノ主要點ハ從來ハ國民職業能力申告令ニ依リ要申告者ニ限り徵用ヲ行ツテキタガ、今回ノ改正ニヨリ軍事上特別必要ナル場合ハ要申告者以外ノ者ヲ徵用シ得ルコト、從來被徵用者ハ國ノ行フ總動員業務ニ從事セシムルコトノミヲ規定シテキタガ、今回ノ改正ニ依リ工場事業場管理令ニ依ツテ政府ガ管理シテキル工場、事業場等ノ施設、管理工場ニ從事セシムルコトトシタ點等デアアル。

國民職業能力申告令ノ改正ハ國民徵用令ノ改正ニ附隨シ申告期間ヲ十四日短縮、申告義務者ガ異動ヲ生ジタ場合ニハ十四日以内ニ申告スルコトトシタモノデアアル。

△從業者ノ移動防止ニ關スル勅令案

從來ノ從業者雇入制限令ニ依リ移動防止ヲ徹底化スル爲移動防止ヲ強化スルモノデ、十四才以上六十才未滿ノ男子デ引續キ一ヶ月以上厚生大臣指定ノ業務ヲ營ム工場、事業場デ勞務者トシテ使用サレルモノ、又ハ雇傭關係ヲ完了シテ一年ヲ經過シナイモノ等ヲ本令ノ適用範圍トスルモノデアアル。

△船員ノ徵用ニ關スル勅令案

海技免狀ヲ有スル船員及下船シテ三年以内ノ者ハ國民徵用ト同ジ仕組デ遞信大臣ガ直接ニ徵用シ徵用ヲ變更シ又ハ解除スルコト、シ、徵用セラレタ船員ハ命令デ定メラレタ船ノ運航ニ從事スルコトヲ規定セルモノデアアル。

△船員ノ使用等統制ニ關スル勅令案

現在ノ船員及新ニ船員ノ資格ヲ得タモノヲ適正ニ配置シ更ニ船員ノ移動ヲ防止スルモノデアアル。

△船員ノ給與ニ關スル勅令案

從來、會社職員給與臨時措置令ニ依ツテ規定セラレテキタ船員ノ給與ニ付海上勤務者ノ特殊性ヲ盛ツタ給與令ヲ制定シテ船員給與ノ統制ヲ圖ラントスルモノデアアル。

十五年第一回米豫想收穫高

農林省發表ニ依ル九月二十日現在ニ於ケル全國十五年米第一回豫想收穫高ハ六千三百一十一萬九千四百三十石デ、前年實收高ニ比シ五百八十萬六千四百五十九石、八分四厘方ノ減收デアリ、又前五ケ年間平均實收高ニ比シ二百三萬九千九百九十二石、三分一厘ノ減少トナツテキル。

此ノ減收ノ原因トシテハ本年稻作ハ苗代時期ノ氣候概シテ順調、苗生育ハ良好デアツタガ、移植期ニ於ケル旱天ニ因ル一部地方ノ植付不能又ハ遲延スルニ至ツタコト、七月ニ於テ北海道及東北ノ一部ヲ除キ氣候適順デアツタニモ拘ラズ八月上旬ニ至リ、一時低溫寒照ノ爲生育ノ阻害セラレタコトヲ主要ナ原因トシ、之ニ一部地方ニ風水害、浮塵子及稻熱病ノ被害ガ發生シタコト等ガ加ハリ新ク減收ヲ示スニ至ツタモノトサレテキル。

最近五ケ年ニ於ケル作付段別及實收高及本年第一回豫想收穫高左ノ通りデアル。

昭和十年	作付段別	實收高	石
● 十一年	三、二〇四、一五四・町四	五七、四二四、二四七	
● 十二年	三、二〇四、二一七・九	六七、三一六、一九二	
● 十三年	三、二一四、〇一〇・一	六六、二八七、七一五	
● 十四年	三、二一八、〇三九・五	六五、八四八、〇六九	
● 十五年	三、一八九、七二七・〇	六八、九二五、八八九	

五箇年平均 三、二〇五、六二九・八 六五、一三九、四二二

十五年第一回 三、一七三、二三四・四 六三、一一九、四三〇

豫想收穫高

此ノ減收對策トシテ農林當局ハ全販賣米ノ國家管理ヲ斷行シ、外米、外地米ノ輸入ニ適宜ノ措置ヲ講ズル一方、米ノ消費規正ヲ全面的ニ強化シ、消費ノ割當制ノ實行等ニ依ル米ノ供給部面ニ於ケル國家管理態勢ノ強化等ニ依ルコト、シ、相當程度ノ減收ヲ見テモ混亂ハ起ラザルモノト、確心ヲ抱イテキル様デアアル。

△鮮米第一回豫想收穫高

朝鮮總督府發表ノ九月二十日現在ニ於ケル朝鮮米第一回豫想收穫高ハ二千九十八萬七千四百三十七石デ、前年實收高ニ比シ六百六十三萬一千六百四十四石、四割六分一厘ノ激增デアリ、前五ヶ年平均實收高ニ比スレバ四十七萬二十八石ノ增收トナリ、平年作維持ハ確實視サレテキル。

預金部資金放出具體策決定

既報ノ如ク金融緩和策トシテ預金部資金二億圓ヲ市場ニ放出スルコトニ決定シテキルガ之ガ放出ノ具體方法トシテ預金部、日銀、興銀ニ於テ考慮中ノ所大體左ノ如キ方法ニ依ルコトニ決定シタ模様デアアル。

一、コール・ローンノ放出

興銀ヲ通ジテ市場緩和ノ爲適當ノ時期ニ放出スルコト、シ、既ニ九月末五千萬圓ヲ興銀經由市場ニ放出シタ。

一、證券業者背負込社債ノ買上ゲ

現在證券業者ノ手許ニ約六千萬圓ノ背負込社債ガアルガ、此ノ中政府保證附及特殊會社債ノ一部ヲ預金部デ買上ゲルコトニ方針ヲ決定、十月四日北支開發債券一千萬圓同七日日本發送電社債三百五十萬圓ヲ興銀經由買上ゲヲ行ツタ。

一、預金部ノ社債買入ノ増加

今後發行ノ政府保證債、特殊會社々債ニ付預金部買入ヲ適宜増加スル

一、シ國前貸金ノ肩替

現在各種シンデイケート團ノ社債前貸金ハ總額約五億圓デ、内政府保證乃至特殊會

社債ノ前貸約二億圓ニ上ツテ居リ、大銀行ノ手許窮迫ノ一因トナツテキルノデ、政府保證乃至特殊會社債ノ前貸ノ一部ヲ預金部ニ肩替リスルコト、シ、其ノ條件ハ成ルベク廣範圍ニ亘ル國策會社デ社債發行迄ニ時間ノ餘裕ノアルモノトシテ、十月五日シ國シンバーガ滿洲重工業二千萬圓、日本發送電三千萬圓ノ肩替ヲ實行シタ。

右ニ依リ現在ノ預金部資金放出額ハ合計一億四千三百五十萬圓ニ達シテキル。

事變公債二億圓發行

政府ハ十月二日ノ實行ヲ以テ支那事變公債二億圓ヲ預金部引受一億圓、日本銀行引受一億圓デ發行シタ。要項左ノ如シ。

- 1. 名稱支那事變國庫債券ラ號
- 2. 發行額 額面二億圓
- 3. 發行日 十月二日
- 4. 償還期限 昭和二十六年十二月一日迄(十一年二月)
- 5. 發行價格 額面百圓ニ付九十八圓五十錢
- 6. 利率 年三分五厘
- 7. 利子支拂期 六月一日及十二月一日ノ二回
- 8. 初期利子(昭和十五年十二月一日渡) 額面百圓ニ付五十八錢
- 9. 發行方法、大藏省預金部引受額面一億圓、日本銀行引受額面一億圓
- 10. 利廻歩合、複利三分六厘六毛、單利三分六厘八毛

外國貿易概況(九月下旬)

大藏省發表、九月下旬ニ於ケル日本ノ對外貿易概況左ノ通りデアル。(單位千圓)

	輸出	輸入	(+)出超 (-)入超
内地	八一、五七三	八九一〇二	(-)七、五二九
朝鮮	四五八〇	六〇八三	(-)一、五〇三
臺灣	二、五三三	一、三七六	(+)一、一五七
合計	八八、六八六	九六、五六一	(-)七、八七五

前年同旬	一七六一一二	七五四二五	(+)一〇〇六八七
前旬	八八八五七	八〇一八九	(+)八六六八
一月以降累計	二九七一〇七一	二七〇四七七九	(+)二六六二九二
前年同期	二七一九五五六	二三一八九八八	(+)四〇〇五六八

尙本旬貿易ヲ重要品別ニ前年同旬ニ比スルニ輸出ニ於テハ綿織物、生絲ヲ始メトシテ軒並ニ著減ヲ示シ、輸入ニ於テハ羊毛、豆類、バルブ、木材、石炭、採油用原料、雜品等ガ増加、棉花、油槽等ガ減少シテキル。

株式市況

前週三國同盟締結發表ヲ比較的冷靜ニ迎ヘタ株式界ハ本週ニ入り國際情勢ノ推移案ジニ貿易關係ノ纖維工業、海運業ノ諸株ガ先驅トナツテ崩落シ會社經理統制令ノ要綱發表ハ更ニ不勢ニ拍車シ、新東株モ百四圓迄叩カレ、九月初旬ノ恐怖人氣ヲ再現スルニ至ツタノデ、東株組合デハ

- 一、長期及短期清算取引ニ於テハ新規賣玉ニ付全銘柄ニ對シ、大體本證ノ五割程度ノ増證ヲ徵收スルコト
- 一、長期清算取引ニ於テハ十日以内ニ五割以上ノ特別現品提供ヲ爲シ得ザル新規賣注文ハ之ヲ取扱ハザルコト

一、短期清算取引ニ於テ期限到來ノ賣玉ニ付テハ其ノ五割ノ受渡ヲ爲サシムル様努力スル

コト

一、實物取引ニ於テハ五日以内ニ現品ノ提供ヲ爲シ得ザル新規賣注文ハ之ヲ取扱ハザルコト

等ノ自肅案ヲ決定、十月四日ヨリ實施シタ。又之ト共ニ日本證券投資會社ヲシテ優良ナ擔保力ノアル株式ヲ一齊ニ積極的ニ買出動セシメタノデ週末ニ至リ一齊ニ反撥ヲ呈シ、特ニ賣込シタ紡績、人絹株等ノ反撥ハ日覺マシイモノガアツタ。斯ル挺入工作ニ因ルモノデアルダケニ尙末ダ眞ノ立直リト見ルコトハ出來ナイガ一應下ゲ過ギヲ訂正シタ觀ガアツタ。

東株短期週間高低

銘柄	週初	高値	安値	週末
銘柄	一〇九一〇	一一一、九〇	一〇四〇〇	一一一、〇〇
新東	五六三〇	五八四〇	五三、六〇	五七、八〇
大新	一四三、四〇	一四三、九〇	一三五、五〇	一四二、七〇
鐘紡	八一、〇〇	八二、七〇	七二、五〇	八一、五〇
新鐘	七九、二〇	八一、九〇	七三、一〇	八一、五〇
郵船	六三、八〇	六四、七〇	五七、三〇	六四、〇〇
新船	六二、八〇	六三、五〇	五九、〇〇	六二、五〇

滿 鐵

六三、九〇

六四、四〇

六二、五〇

六四、三〇

金融事情

△起債市場 起債市場ハ依然金融梗塞裡ニ打開ノ曙光ヲ見ズ、前項掲記ノ如ク預金部資金放出ニ依ル對策ガ實行サレテキル。

本週中ニ起債條件ノ發表セラレタモノハ一日ノ臺灣電力社債二千萬圓等デ、其ノ條件左ノ如シ。

臺灣電力社債

1. 臺灣電力第一回物上擔保付る號社債
2. 發行額二千萬圓（内、シ團親引五百萬圓、官廳買入五百萬圓、公募一千萬圓）
3. 利率四分三厘
4. 發行價格額面百圓ニ付百圓
5. 償還ノ方法及期限 十一年、但シ二年据置後毎半年四十萬圓以上償還
5. 拂込期限十月二十五日
6. 擔保工場財團、委託臺銀、日本興銀
7. 請負募集 臺銀、日本興銀、第一、三井、三菱、第百、三和各銀行

△短資市場 週初ノ九月末八月末決濟資金需要旺盛ニ繁忙ヲ呈シタガ、政府支拂ノ進捗ニ依リ大體手一杯ニ七厘一本ヲ以テ平穩越月シタ。

越月後ハ株式同様資金移動、月末決濟ノ繰越 等ニ繁忙ヲ見セタガ、預金部資金放出金ノ滯留ニ依ツテ賄ヒ、其ノ後ハ大體順調ニ保合ヲ續ケ週末ニハ政府支拂ガ可ナリ進捗シ

タノト、預金部ノシ團前貸肩替り實行ニ因リシ團カラ市場放出トナリ、久シ振リニ緩和状態ヲ呈シタ。然シレドハ週中七厘一本ヲ終始シタ。

◎ 支那財界事情

聯銀券前季末發行高

中國聯合準備銀行デハ九月三十日上半季決算報告ヲ發表シタガ、同季末銀行券發行高ハ五億九千九百十二萬四千圓デ、前季末ニ比シ一億四千百萬圓ノ増加デアアル、之ヲ前々季末ニ對スル前季末ノ増加一億九千三百萬圓ニ比スルト相當ノ縮少トナツテキル。尤モ上半季ト下半季トデハ事情モ異ルノデ必ズシモ比較ニハナラナイガ、本年下季ニ入ツテカラモ發行高ハ七月末五億八千萬圓、八月末五億六千萬圓ト漸減シテキルノデ、今春來相次イテ實施サレタ渡航者制限、携帶金限度ノ減額、新規事業ノ抑制、貸出ノ制限、開發投資ノ重點主義採用、無爲替輸入ノ許可制實施等ノ發行抑制ノ爲ノ當局ノ諸措置ノ效果ガ現ハレテ來タモノト見ラレテキル。而シテ注目スベキコトハ聯銀券發行ノ準備ノ内容デアアルガ、上半季末ノ貸借對照表ニ依レバ、發行高五九九、一二四千萬圓ノ發行準備金ノ内譯ハ地金三七、八二七千圓、地銀一六、四三七千圓、預ケ金五四四、八五九千圓デ、預ケ金ガ壓倒的部分ヲ占メテキル。此ノ膨大ナ預ケ金ハ云フマデモナク日本及滿洲ヨリ北支ヘ流入シ受取超過トナツテ殘ツテキル日圓及國幣資金デアアルガ、其ノ大部分ハ勿論日圓資金デ、實質的ナ軍票トシテノ聯銀券ノ特質ヲ明瞭ニ示シテキル。而シテ更ニ此ノ預ケ金殘高ノ對前季末比ノ一億一千二百萬圓増ト銀行券發行高ノ對前季末比ノ一億四千萬圓トヲ合セ見レバ、兩者ハ略

略符合シテキルノデ、各方面ヨリ懸念サレテキル聯銀券膨脹ノ性質モ亦自ラ明カナコト、思ハレム。

上海、諸銀行當座預金利率引下ゲ

上海ニ於ケル遊資ノ氾濫ガ傳ヘレテカラ既ニ久シイガ、其ノ後モ海外ヨリノ資金ノ還流、西南奧地ヨリノ資金ノ逃避。最近ノ國際情勢不安ニ基ク外國銀行ヨリ華商銀行ヘノ資金ノ移動等ノ諸要因ガ嵩ンデ上海華商銀行ノ預金ハ膨脹ノ一途ヲ辿ツテキル。一方上海商二界ノ沈滯モ益々顯著トナツテ、資金需要モ減少ノ一方ナラデ華商銀行ハ新ル遊資ノ處置ニ窮シ、重慶政府ノ禁止シテキル投機ヲ目的トスル資金需要ニ對シテモ之ニ應ズル等シテ其ノ處分ニ努メツ、アツタガ、依然トシテ商工界ノ資金需要ヲ喚起スルニトガ出來ズ、金利ハ次第ニ低下ノ趨勢ヲ辿リツ、アル。即チ錢業公會ノ貸出日歩ハ現在千元ニ付一角ニ步デ、本年五月頃ノ二角五分ニ比スレバ半分ニ低下シテ居リ、又滙劃ノ割引率モ一千元ニ付十八元ト五月ノ百三十五元ニ對シ八分ノ一見當ノ低率ヲ示シテキル。之ガ爲華商銀行ハ最近デハ之以上ノ負擔ヲ避ケンガ爲預金受入ヲ成ル可ク回避セントスル態度ヲ示シ始メテ居リ、浙江實業、鹽業、金城等ノ華商大銀行筋ハ十月一日ヨリ一齊ニ當座預金利率子シ從來ノ年利四分ヨリ三分ヘ引下ゲル旨ヲ發表シタ。而シテ華商銀行ノ預金ハ定期預金ガ二割、當座預金ガ八割位トイフ特徴ヲ持ツテキルノデ、今回ノ當座預金ノ利下ゲノ影響ハ極メテ大ナキ筈デアル。上海日本側六大銀行モ右ノ華商銀行側ノ措置ニ追從シテ法幣當座預金利率ヲ從

來ノ年利一分五厘ヨリ一分ニ引下ゲ、同日ヨリ實施シタ。尙特當、定期等他ノ預金ノ利率ニハ變更ナク、又軍票勘定預金ハ從來ヨリ無利息ナル點ニ變リハナイ。又歐米側銀行モ從來ヨリ大部分ハ當座預金ニ對シテハ無利息ノ建前デアツタノデ何等變更ハナイ。

銀行週末主要勸定殘高

康德7年10月5日現在 (單位千圓)

資 產		負 債	
貸 付 金	1.149.572	挪入資本金計 總立金	35.019
滿洲興業債券價格較差	785	滿洲興業債券發行高	60.000
滿洲儲蓄債券價格較差	6.816	滿洲儲蓄債券發行高	14.916
有 價 證 券	146.218	預 金	675.441
餘 預 金	9.029	政 府 貸 下 金	100.000
手 許 現 金	5.160	再 割 及 借 入 金	291.000
對 鮮 銀 爲 替 尻 貸	—	對 鮮 銀 爲 替 尻 借	7.625
		當 廳 借 越 及 手 形 借	82.752
		借 入 有 價 證 券	38.000
		其 他	12.527
計	1.317.280	計	1.317.280

滿洲中央銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	平均發行高	準 備	保 證
自 9,22 至 28	662,243	319,780	342,463

日本銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	發 行 高	正貨準備	保 證	保證ノ内制 限外發行高
9,23	祭		日	
24	3,317,033	501,287	2,815,746	615,746
25	3,563,903	501,287	2,962,616	662,616
26	3,394,054	501,287	2,892,767	592,767
27	3,461,009	501,287	2,959,722	759,722
28	3,553,174	501,287	3,054,887	854,887
平 均	3,361,704	501,287	2,860,417	660,417

朝鮮銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	發 行 高	準 備	保 證	保證ノ内制 限外發行高
9,23	祭		日	
24	452,074	228,019	224,054	64,054
25	463,057	231,161	231,895	61,895
26	450,600	221,391	229,209	69,209
27	449,779	211,558	238,220	78,220
28	450,733	219,244	231,459	71,459
平 均	451,350	219,252	232,118	72,118

海外爲替相場

月日	米	日	米	英	米	支	英	日	英	支
9.30	23.47		4.03 1/2		5.50		1/2 1/2		3 3/4	
10.1	23.47		4.04 3/4		5.74		1/2 1/2		3 7/8	
	2	23.47		4.04 3/4		5.64		1/2 1/2		3 7/8
	3	23.47		4.04		5.70		1/2 1/8		3 2/3
	4	23.47		4.03 3/4		5.66		1/2 1/2		3 7/8
	5	23.47		4.04		5.44		1/2 1/2		3 7/8

海外金銀塊相場

月日	倫敦銀塊	紐育銀塊	倫敦金塊
9.30	休日	"	"
10.1	23 1/3	34 3/4	8/8/0
	2	34 3/4	8/8/0
	3	34 3/4	8/8/0
	4	34 3/4	8/8/0
	5	34 3/4	8/8/0

株式相場 (單位圓)

月日	東京短期							
	新 東				大 新			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
9, 30	1091	1085	1093	1085	565	562	565	561
10, 1	1040	1062	1087	1040	536	543	565	536
2	1070	1062	1072	1049	550	549	555	539
3	1099	1082	1099	1078	569	561	569	560
4	1087	1111	1114	1085	560	575	582	560
5	1116	1116	1116	1106	576	578	578	574

月日	東京短期							
	綿 紡				日 石			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
9, 30	1434	1419	1439	1411	680	669	680	668
10, 1	1378	1390	1398	1360	635	650	654	635
2	1370	1359	1380	1338	645	631	645	625
3	1400	1398	1400	1382	651	654	665	651
4	1383	1416	1420	1383	654	678	680	654
5	1430	1427	1438	1420	694	695	705	693

月日	東京短期							
	滿 鐵				滿 業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
9, 30	639	635	639	635	639	635	639	635
10, 1	625	633	633	625	620	624	625	620
2	626	627	630	626	621	596	622	590
3	634	633	634	633	612	614	617	605
4	631	631	-	-	610	619	630	610
5	639	643	644	639	630	625	633	625

株 式 相 場 (單 位 圓)

月 日	奉 天 短 期							
	滿 鐵				滿 業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
9, 30	636	634	636	634	627	625	627	625
10, 1	627	632	632	627	617	625	625	617
2	630	630	-	-	625	601	625	598
3	634	636	636	634	-	514	-	-
4	634	634	-	-	610	621	621	610
5	639	643	648	639	-	629	630	629

月 日	奉 天 短 期											
	滿 取				電 甲				電 業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安	寄	引	高	安
9, 30	240	231	240	231	-	397	-	-	-	446	-	-
10, 1	220	230	230	220	-	400	-	-	537	540	540	537
2	232	230	232	230	-	396	-	-	-	538	-	-
3	243	239	243	239	-	395	-	-	529	539	539	529
4	242	247	247	242	-	398	-	-	539	539	540	539
5	244	249	250	244	-	400	-	-	-	548	548	540

月 日	大 連 短 期							
	五 品				大 機 新			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
9, 30	242	239	242	239	-	-	-	-
10, 1	232	229	240	229	-	-	-	-
2	221	218	221	218	360	-	-	-
3	220	225	230	220	369	-	-	-
4	223	231	235	223	-	-	-	-
5	232	228	232	228	372	380	380	372

商 品 相 場 (單位圓)

月日	大 阪 (營 限)				神 戶 (營 限)	
	綿 布 (一 反)		棉 花 (百 斤)		豆 粕 (百 斤)	
	寄 休	引 會	寄 休	引 會	寄 休	引 會
9, 30					4, 50	—
10, 1	3, 290	3, 270	70, 75	—	4, 50	—
2	3, 210	3, 225	70, 75	—	4, 50	—
3	3, 250	3, 265	70, 75	—	4, 50	—
4	3, 250	3, 250	71, 00	—	4, 50	—
5	3, 245	2, 240	71, 00	—	4, 50	—

重要商品公定價格

1. 大豆·豆粕·豆油及主要糧穀

(單位圓)

地名	品名	單位	價格	備考			
新 京	大豆(新麻袋入一等品)	一車	3.789	-	重要特產物專		
哈爾濱	全 (")	"	3.644	-	管法第七條ノ		
大 連	全 (")	"	4.189	-	規定ニ依ル滿		
羅 津	全 (")	"	4.090	-	洲特產專管公		
新 京	豆粕(一口千百枚ノモノ)	"	2.700	-	社ノ收買價格		
哈爾濱	全 (")	"	2.556	-			
大 連	全 (一口千枚ノモノ)	"	3.200	-			
全 國 均 一	豆油(院 內 渡)	百斤	, 23	-			
新 京	小麥	國營檢查 買入價格	11	79	小麥及製粉業 統制法第九條 ノ規定ニ依ル 滿洲穀粉管理 會社ノ買入及 販賣價格		
		二等合格 標準品 販賣價格	12	23			
	高粱	標準品一袋	100	9	81	主要糧穀統制 法第九條ノ規 定ニ依ル滿洲 糧穀會社ノ買 入價格	
	玉蜀黍	"	"	10	14		
	粟	"	"	11	89		
全 國 均 一	麥粉	特 殊 品		8	32	專賣官署所在 地ニ於ケル販賣 人販賣價格	
		普通品	一 等 等		7	32	
			二 等 等		6	32	

重要商品公定價格

2. 米 穀

(單位圓)

地名	品 名	單 位	價 格	備 考	
新 京	國 內 產 米	1. 水稻粳精米(風袋込・貨車乘渡) 中北部地方種・無砂米上米	45 疋	1633	米穀管 理法第 八條ノ 規定ニ 依ル康 徳七米 穀年度 ニ於ケ ル滿洲 糧穀會 社ノ米 穀賣却 價格
		2. 胚芽米(同上)	"	1747	
		3. 水稻糯精米(同上)	"	1959	
		4. 陸稻精米(同上)	"		
	輸 入 米	燻 上 米	"	1551	
		糯 上 米	"	1861	
		水稻粳精米(風袋込・貨車乘渡) 北海道米 一 等	45 疋	1591	
		朝鮮米	"	1622	
		淸米	60 疋	2090	

3. 綿 糸 布

五八

地名	品 名	單 位	價 格	備 考	
新 京	綿 糸	十六番手(遼塔)	(40玉一捆)	39500	原棉綿製品 統制法第八 條ノ規定ニ 依ル元賣捌 最高價格
		二十番手(遼塔)		44000	
	綿 布	粗 布(進賢)	一 反	1717	
		細 布(進賢)	"	1670	
		大尺布(白羊美人)	"	460	
		染大尺布(鼎發財)	"	590	

重要商品公定價格

4. 砂糖

(單位圓)

地名	品名	車賣	俵賣	秤賣	備考
新 京	精糖	3130	3230	3480	生活必需品
	白双	3130	3230	3480	會社=依ル
	赤双	1980	2080	2280	配給統制價
	角糖	840	875	(一個) 0.38	格

昭和二年十月三十一日現在

種別	單位	金額	期 間	備 考
木 豆	60 疋	232	自康徳七年十月 一日 至〃 八年一月卅一日	松花江筋ヲ除ク 地域ニ於テ本期 間中農産物交易 場ニ出荷セルモ ノニ對シ交附ス
			自康徳七年十月 一日 至〃 八年六月 五日	松花江筋ニ於テ 本期間中專管公 社又ハ其ノ特約 收買人ノ買付ク ルモノニ對シ交附ス
小 麥	100 疋	200	自康徳七年九月 一日	本期間中農産物 交易場又ハ地方 行政官署ノ指定 シタル場所ニ出 荷セラレタル新 穀ニ對シ交付ス
	60 "	120	至〃 " 十月 一日	
	100 "	100	自康徳七年十一月 一日	
	60 "	60	至〃 八年一月 十一日	
高 粱	100 疋	200	自康徳七年十月 一日	本期間中農産物 交易場又ハ地方 行政官署ノ指定 シタル場所ニ出 荷セラレタル新 穀ニ對シ交付ス
	60 "	120	至〃 " 十一月 十五日	
玉蜀黍	全 上	全 上	全 上	
米 穀	100 疋	300	自康徳七年十月 一日	本期間中農産物 交易場又ハ地方 行政官署ノ指定 シタル場所ニ出 荷セラレタル新 穀ニ對シ交付ス
	60 "	180	至〃 " " 日	
	100 "	200	自康徳七年十一月 一日	
	60 "	120	至〃 " " 日	
	100 "	100	自康徳七年十二月 一日	
	60 "	60	至〃 八年一月卅一日	